

(会議の経過) 伊水・都多小学校区 第1回 学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	※次第「3. 地域の委員会の役割について」資料により説明
委員	一定時期とは、方向性を決めるのに時期があるのか。
事務局	そのことについても協議いただきたいと思う。しかし、教育委員会の思い
	としては各組織、団体の役職も年度内のものかと思うので、本年度にはこの
	会としての結論を見出してもらいたい。
事務局	この委員会の要領について承認いただけるか。《委員：異議なしの声あり》
	次第「4. 会長、副会長の選任について」委員互選により決定
	《正副会長あいさつ》
事務局	次第「5. 学校規模適正化、幼保一元化のこれまでの経過について」
	資料により説明
会長	経過説明を聞いた。順次、委員より質問を受ける。まず学校規模適正化に
	ついて質問があれば出してほしい。
委員	今回、この委員会を立ち上げ、ここで協議された意見や決定された事項は
	どう反映されるのか。市の方針に影響はあるのか。
事務局	中学校区で委員会を立ち上げた意味合いは、伊水小学校区と都多小学校区
	のお互いの地域の思いがあり、一緒になるための課題をクリアしていかない
	といけない。行政側の思いもある。3者の協議の中で一定の一致点を見い
	だす必要があり、新しいものをつくっていく必要がある。地域の中で決め
	られたことに行政側が100パーセント応えられないことも生じると思うが、
	一緒になって協議いただきたい。
委員	例えば、地域として合併しない方向になったらどうなるのか。
事務局	地域の方が合併をしないと決定したら、行政側としては子ども達の為に何
	とかしたい思いはあるが、地域の皆さんの意見を無視して強引に統廃合を
	進めることはない。地域の思いを尊重しながら時間をかけ進めたい。
委員	アンケート結果にもあったが、統合に71パーセントが反対している。今後
	進めていくにあたり、ここに参加している役員の方はどのような思いを持
	っているのか知りたい。
会長	自治会推薦の委員についても、小学校や中学校の子どもを持つ保護者の方
	に入ってもらった方が良いということで推薦して入ってもらっている。保
	護者としての意見を出してもらいたい。
委員	予定が平成27年4月になっているが、行政が作成した理想とする日程とし
	て書かれているのか。中学校に近い学校に幼・小・中を一貫とし、合併する
	となっているが、伊水小学校に合併する意味合いになってくると思うが、
	そうすると都多小がなくなり、過疎化が進んでしまう。過疎化を抑える意
	味でも小学校が必要と思う。そのあたりも考えているのか。
事務局	平成27年4月で示しているが、あくまで教育委員会が考えている年度で、
	地域の方に提案させていただいている。早い、遅い、もっと早く進める、
	白紙に戻して検討し直すなど、いろんな選択があると思うが、そのような
	ことも含めて検討いただきたい。小学校の適正化については中学校に近い
	伊水小学校を新たな学校として開校していきたいという考え方で、提案を

委員	<p>いるが、場所も含めて地域の皆さんと協議していきたい。</p> <p>伊水小学校と合併することだが、都多小学校の立派な校舎、体育館がもったいない気がする。都多小学校の校舎を使うという考えはないのか。都多小と伊水小の真ん中に学校を建てるなどの考えもないのか。統合は子どもの教育には大事なことだが、地域からしたら学校が無くなれば、過疎化が進む心配がある。</p>
事務局	<p>市としては、小学校になると中学校との連携など踏まえる中で中学校に近い小学校で考えていただきたい。地域の委員会で違う結論が出るのであれば、地域の思いを踏まえ皆さんの意見を尊重していきたい。ただ、新しい場所に新しい学校を建設するとなると、財政負担もかなりあることなので、地域の意見が決定しても、難しいと考える。</p>
事務局	<p>まだ統合が決定ではないので誤解を招くかもしれないが、どちらかの小学校が閉校になれば、地域で小学校の利活用を積極的に考えていただくことを基本にまちづくりに活用していただけたらと思う。例でいうと、千種の東小学校が平成 23 年度に千種小学校に統合された。現在、東小学校は地域を活性化させ、利活用するため委員会を立ち上げて検討しているところである。地域で積極的に利活用しようとしているところは行政としても積極的に支援したいと思っている。千種の北小学校については学校も大きく、地域としては利活用の方策が見いだせないとのことで、市として利活用できないか考えているところである。地域で考え地域の活性化の為に使っていただくことが第一だと考えている。</p>
委員	<p>平成 22 年の話し合いの時に、同じような話があり、都多小ではなく伊水小学校を使用となっていたので、都多小保護者からは、その文言を消して欲しいとお願いした。その時は検討事項として残すという話があったが、今この話でいくと、新しい校舎を建てる、都多小学校を使うことは全く検討の余地がないように聞こえた。それは決定事項なのか。地域の活性化、過疎化をさせないという話もあったが、小学校がなくなると過疎化は進んでいくと思う。教育委員会に質問で、伊水小学校、都多小学校の運動会、学校行事などのたくさんの地域の方が参加しているところを見に来たことはあるのか。</p>
事務局	<p>それぞれの地域の運動会については学校教育課で行事に参加し、拝見している。例えば統合のあった千種地域においては保、幼、小、中、高による、統合になった広い地域の中でふれあい文化祭という新たな行事を開催している。</p>
事務局	<p>前回、小学校区の懇談会の中でも場所の質問は出ていたが、中学校に近い校舎を使うというのは教育委員会として提案としているものであり、小学校の場所についてもこの委員会で検討いただきたいと思う。</p>
会長	<p>過去に 2 回、懇談会を開催しているが、都多小校区の方は「中学校区に近い校舎を使う」と市の方向性が示されていることに違和感がある。そのように感じるが、あくまで提案になるので、委員会で話し合いをしていく中で意見を出し方向性を出していきたい。市の思いと違う方向性になっても、この委員会で結論を出していく。幼保一元化について質問はないか。中学校区で認定こども園を考えていくとのことだったが、この委員会は蕨沢地域だけになるが、この委員会で意見を出しても差し支えはないのか。</p>

事務局	教育委員会が考えているのは、地域の子どもが、同じ義務教育に繋がっていくことを考えている。幼保一元化についても、山崎東中学校区になるが葛沢地域と神野、河東の地域と分けて考えていただきたい。
委員	民間での認定こども園のあり方について、民間でできることは民間でと示してあるが、公立で維持していく考えは、教育委員会は持っていないのか。
事務局	市が考えている幼保一元化の推進計画の大きな基本として「民間でできることは民間で」としている。宍粟市の場合、公立の幼稚園で4、5歳児を預かっている。保育所は保育のニーズ、教育のニーズが高まっている中で4、5歳児が保育所で教育を受けている現状があり、文科省が定めている幼稚園の教育要領、厚労省が定めている保育所の保育指針、省庁は違うが幼稚園の施設、保育所の施設で幼児教育を担っていくという狙いは同じようにある。民間に全てをまかせるのではなく、認定こども園を運営してもらうためのガイドラインを示し、ガイドラインをクリアした運営主体に運営をしていただくための仕組み作りをしているところである。その上で、民間でできることは民間でとしている。
委員	葛沢地区はののほな保育園になるのか。
事務局	葛沢地区については都多幼稚園、伊水幼稚園、ののほな保育園が就学前の子どもを預かる施設として存在する。ののほな保育園も含めて幼保一元化をどうしていくのか考えていただけたらと思う。
委員	受け入れ側はどうかを含めて2、3段階考えていかないといけない。今の説明ではののほな保育園が葛沢地区の受け入れ側になると思ってしまう。
事務局	社会福祉法人に運営してもらうことを、ガイドラインの中に基準として示したいと思っている。ののほな保育園は有限会社なので、ガイドラインをクリアしてもらうには社会福祉法人の認可をとってもらわないといけない。その様なことも含めて協議いただきたい。
委員	学校規模適正化は優先順位がABCDとあるが幼保一元化はどうか。時期はいつになるのか。
事務局	教育委員会として考える時期は義務教育へつなげる一貫した教育保育を目指していきたいと思っている。学校規模適正化の時期と合わせて実施するのが望ましいと提案している。
事務局	基本的には同じ時期で進めていただきたいが、地域の委員会の中で、それぞれの時期を協議いただけたらと思う。
事務局	※次第「6. 今後の進め方について」 今後の進め方について、学校規模適正化と幼保一元化という大きな課題が2つあり、これを並行して進めるのは重い内容で話が進みにくく、難しいと思う。例えば議論の進め方を部会制にするとか、学校規模適正化と幼保一元化を分けて考えるとか、整理して進めていくことを提案させていただきたい。今後の会議の回数、このメンバーでどこまで進めるか、タイムスケジュール的なものを決めていただきたい。
委員	まだ白紙の状態なので学校規模適正化、幼保一元化を分けてはどうか。
委員	幼稚園の保護者は小学校にも関係する。
委員	もう1度、都多は都多、伊水は伊水で分かれて意見を出しまとめてはどうか。アンケートをもう1度とっていただきたい。前のアンケートは学校規

事務局	<p>模適正化の文言はなく適正人数などについてのアンケートだったと思う。それを学校規模適正化のアンケートに使うことは意味合いが違ってくると思う。</p> <p>アンケートをとる時期、内容もこの委員会で決めていただけたらと思う。教育委員会としては今、アンケートをとって学校規模適正化反対という意見が出た場合、これから進めていくうえで、この反対意見は覆らないと思う。もう少し議論したうえでしてみたらどうか。</p>
会長	<p>アンケートをとるにしてもアンケート内容と時期も含めてこの中で決めていけたらと思う。</p>
委員	<p>忌憚のない意見は少人数でしかでない。現に男性が多く、もう少しお母さん方も交えて意見を聞き、グループディスカッションのような感じで、意見のまとめ役をつくり意見を集約し進めていくようにしたらどうか。この委員だけでは重い判断になると思う。もう少し気軽な感じでしてみたらどうか。</p>
会長	<p>色々と意見が出ているがそれぞれのPTA会長と自治会長も入り、近いうちに今後の進め方について議論してから皆さんに示したい。35人、いっせいになかなか意見が出ないと思うのでその方向で進めていきたい。</p>
事務局	<p>1度、代表者が集まられるということなので、次回の開催日はその場で決めていただくことにする。</p>